

(様式4)

試 験 経 過 記 録

区 分	自主課題
-----	------

森林技術センター

平成10年度実施内容

1 根元径、樹高の測定

(別途野帳保管) (調査: 2,125人) (平成11年1月)

	根元径 (mm)	樹高 (cm)	枝張 (cm)	備 考
ヒノキ	31	190	36	
イチイガシ	31	213	44	

2 有用樹の発生状況調査

10×10m において有用樹発生状況をぼう芽、天然下種別に調査
樹種、根元径、樹高の測定実行 (別途野帳保管)

下刈実施結果

	面 積	延 雇 用 量	人/ha
下刈 (筋刈)	3.42 ha	17,500人	5.1

功程調査

樹種・作業方法	功程 人/畝	備 考
ヒノキ (筋刈)	3.6	
イチイガシ (筋刈)	4.4	
イチイガシ (全刈)	8.9	

ヒノキ生育状況

広葉樹との競合状態として縦筋植 (植込む個所幅 2m, 有用広葉樹保残幅 3m) を実行したが有用樹以外の成長が旺盛なためこれらを刈払う。
ノウサギの喰害は保護樹帯近くで、造林木周囲の枝条・雑灌木の少ない所で列条発生。
樹高・直径生長共に良好。

イチイガシ生育状況

有用広葉樹との競合状態にある個所に植込んだイチイガシが、ぼう芽力の旺盛なコジイに被圧されているのでこれらの本数調整を実施した。
樹高・直径生長とも生育良好

考 察

ヒノキ・イチイガシとも生育良好である。野兎被害がヒノキ・イチイガシともに発生したため罾による有害鳥獣駆除を平成11年3月に実施した。

有用広葉樹の発生調査を実施したが、クワ・イス・ハナガシ等の発生が確認された。生育は良好である。下刈り実行時に刈り出しを実行。ヤマグワにコウヤク病が発生。生長量調査時に萌芽発生の多い樹種について本数調整と又木の樹幹修正の整枝を実施した。

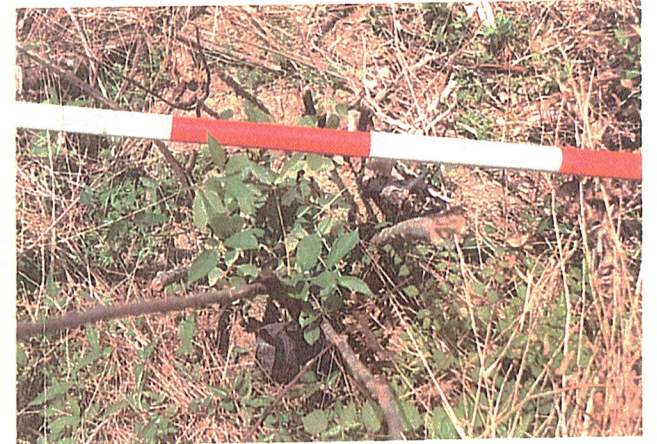
イチイカシ標準地
植込み箇所10×10



7年 3月



ウサギ被害対策
枝条による防護柵



真上から

イチイカシ植込み箇所
地拵前全景



7年.3.月

イチイカシ植込み箇所
地拵後全景



7年.3.月

ヒノキ植込み箇所
縦植標準地



7年. 3. 月

イチイカシ植込み
自主設定箇所(山神上)



7年. 3. 月

イチイカシ植込み
自主設定箇所(奥地右)



イチイカシ植込み
自主設定箇所(奥地左)



7年3月



下上から



イチイカシ植込み
自主設定箇所(奥地右)



イチイカシ植込み
自主設定箇所(奥地左)



上から

(試験区近く、岩の上から)



7年. 6. 月



7年. 6. 月



7年. 9. 月